

# 自社施設の集積地で相乗効果狙う 家族葬ブランド2号店で需要拡大に対応

(株)リンクモア／平安閣CASITA katta 光

## 新たな葬送のあり方の情報発信基地として 新会館ブランドをスタート

青森県中央部に位置し、県の政治・経済の中核を担う青森市は、八甲田山や梵珠山に代表される自然と三内丸山遺跡や浪岡城跡などの歴史遺産、さらに「ねぶた祭」といったさまざまな観光資源をもつ。その青森市を拠点に、年間約500件の葬儀をとり行なっているのが(株)リンクモア（社長船橋素幸氏）だ。

地元では、古くから青森冠婚葬祭互助会で知られていたが、創業50年目に当たる2016年9月1日、「リンク=つながる、モア=もっと」の意を込めて社名を変更、新たなスタートを切った。同社は、市内に「平安閣本館」（06年9月開業）、「平安閣アネックス」（09年9月）を展開していたが、社名変更の年に開業したのが邸宅型家族葬会館「平安閣CASITA<sup>カシータ</sup>」である。

開業にあたって、同社葬祭部の宮腰工氏は、「当時、青森市内は葬儀の小規模化（家族葬化）が進んできていました。しかし、当社の既存会館（本館およびアネックス）は、式場がそれぞれ150席、120席もあり“大きすぎる”という声が会員様はもちろん社内からもあがり、実情に見合った小規模会館の展開が切望されていたのです。また、さまざまな事情で病院から直入りしたいという声も高まっていたため、その受け皿となる遺体安置機能を備えた施設を確保する必要性を感じていました」と語る。しかも、このあたり

は先火葬（骨葬）の地域であるため、出棺前の別れの儀がほとんどなかった。「それゆえ、本館やアネックスでは、お別れの儀式などについては取り組んでできませんでした。しかし、故人に感謝の意を示し、会葬者の方にもこの感動的なセレモニーを体感してもらいたいとの思いから、CASITAの開業を機に取り組むようにし、発信していったのです。時代が変われば葬儀の慣習もそれに合わせて変わっていくべきだと思いますが、そうした情報提供を行なうことも当社の使命ではないかと取り組んできました」と、従来の葬送のあり方に一石を投じることもその目的の1つだったとしている。

平安閣CASITAを含む3会館は、同じ街区に開業しており、お客様にとっては会館選択の幅が広がっただけでなく、3会館を一度に見学できる点は、他社にはない強みとなった。また、社内的にも、葬具などの集中管理、フレキシブルなスタッフ配置、といった運営上のメリットも生み出した。

しかし、葬儀の小規模化はますます進み、それに伴い、平安閣CASITAを利用する希望者がふえていった。さらに、深刻なのが喪主となる世代が徐々に他県に流出していることだ。これにより、「葬儀の打合せをはじめようにも、遺体安置に付き添われる方の多くは親戚で、“喪主はいま、県外から向かっているのでもうしばらく待ってほしい”と言われることが多くなっています」（宮腰氏）と、施設に安置しても以降の段取りに時間を要することが多くなるにつれ、他の葬儀依頼が入っても、必然的に「即断で受け入れられず、お待ちいただくようになってしまう」状況に陥ったという。

## 安置ニーズの高まりとともに需要拡大 その解消策として2号店を開設

こうした需要の高まりと、ふえ続ける遺体安



「カシータ」ブランド2号店として開業した「平安閣CASITA katta 光」



白を基調とする式場には電子ピアノを設置。音楽を奏でることにより、グリーフ効果を高めること狙った



木材の温もりをふんだんに感じとれる内装を施したリビングダイニング



カシータの運営スタッフは「白」を基調とした制服で施行運営にあたる。これは、古来から白は神聖な色とされ、浄化・再生といった意を含めたこともある。また、以前、喪服の色が白かったことに回歸する意も込められている



式場前や会館入口に掲示される「光」の書は、武田双雲氏によるもの

置ニーズへの対応に應える形で、18年11月3日に開業したのが「平安閣CASITA katta 光」（以下、CASITA 光）だ。

青森の玄関口であるJR青森駅から車で約10分、本館、アネックス、平安閣CASITAが集積する街区からも車で3分程度の位置にあるCASITA 光は、敷地面積1,148.0㎡、建築面積347.6㎡、木造平屋建てで延床面積344.6㎡。建物の横にはスーパーが隣接し、道路を隔てた向かいにはコンビニエンスストアが構えるなど、高い利便性と視認性をもつ場所に立地する。

会館ブランドでもある「CASITA」は、“小さな家”の意で、外観は白を基調とした落ち着いた雰囲気とした。会館名である「光」は、この場所から「光」を放つという意を含めて、名づけられたもの。会館ロゴにも使用されている金文字の書「光」は、カシータブランド1号店である平安閣CASITAに飾られている「新」と同

式場とは別動線となる遺体安置室



じ書家の武田双雲氏に依頼した。

館内には、青森県野辺地町出身の画家野坂徹夫氏による作品10点を展示。すべてCASITA 光のために制作されたもので、館内の随所に飾られ、訪れる遺族や会葬者たちの心を癒している。そのほか、館内には青森県のブナの木を有効利用するために独自の製法でつくられた木工品ブナコもふんだんに活用。ブナコランプやお盆、ティッシュボックス、ゴミ箱、ブナコスピーカーなどを配し、地産品にもこだわった設えとした。

また、式場には、「言葉では伝えきれない思いを音楽で奏でることで、遺族や会葬者に何かを伝えることができれば……」（宮腰氏）と思

**DOSHISHA**  
(東証1部上場【証券コード:7483】)

**Memorialbed**  
【全国展開】  
【全国展開】  
【全国展開】

お問合せ先

株式会社ドウシシャ 特販部  
【東京】  
TEL 03-3474-6853  
FAX 03-3474-6908  
【大阪】  
TEL 06-7663-2020  
FAX 06-6121-7820  
【メール】  
info@memorialbed.com



メモリアルベッド

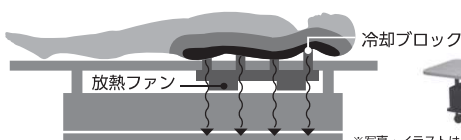
検索

## メモリアルベッド

冷却

背中から吸熱する理想的な冷却法

下部から素早く吸熱しながら深部までしっかり冷却できます



※写真・イラストはイメージです。

どんな仕組み？

内臓をピンポイントで冷却する次世代型の冷却装置です。

試したい！

貸出機ご提供中（無償）

ランニングコストは？

電気代：1日約143円

まずはご連絡ください。お気軽にどうぞ！

- ドライアイスに代わってご遺体を冷却安置する「次世代型冷却装置」です。
- ランニングコストを削減。電気代は1日約143円。（1kWh 単価27円にて試算）
- 本当に冷えるの？ 使いにくい？ ⇒貸出機でもお試し頂けます。お気軽にお問い合わせください。
- 株式会社ドウシシャ（東証1部上場【証券コード:7483】）が、製造・販売・アフターメンテナンスを行います。
- 環境にやさしいモノづくりで社会貢献を目指します。

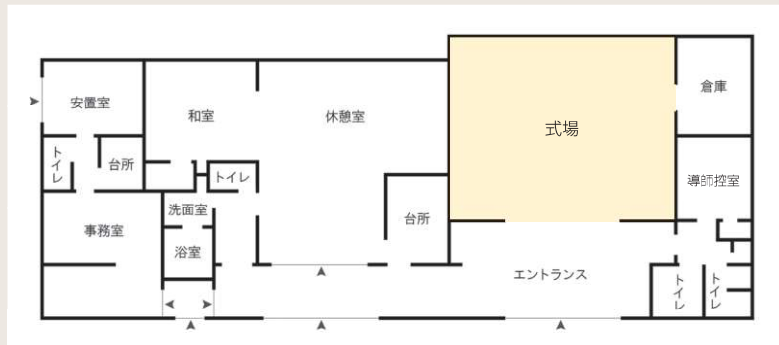
葬祭部  
宮腰工氏



■株式会社リンクモアの概要

【所在地】青森県青森市中央1-27-10  
 【設立】1967(昭和42)年  
 ※青森冠婚葬祭互助会として設立  
 【代表者】船橋素幸  
 【施行件数】約500件  
 【会館数】4会館

●平安閣CASITA Katta光の平面図



■平安閣CASITA katta 光の概要

【所在地】青森県青森市勝田2-18-4  
 【敷地面積】1,148.0㎡  
 【建築面積】347.6㎡  
 【建物構造】木造平屋建て  
 【延床面積】344.6㎡  
 【施設概要】式場(35席)、安置室兼休憩室(30畳)、導師控室、遗体安置室など  
 【駐車場】16台

いから電子ピアノを設置。音楽には感情を引き出す力と死別によるグリーフの感情を表に出す効果があるとされており、この電子ピアノは是が非でも導入したかったという。

こうして誕生したCASITA光は、平安閣CASITAとの相乗効果もあって、開業後、月に6～8件ほどの葬儀をとり行なうまでになっている。

■スキルアップと地域密着を資源に  
消費者ニーズに寄り添う人間集団を目指す

昨今、青森県内でも、通夜を営まずに葬式だけを行なう「1日葬」がふえていているという。その理由は「近親者が高齢となり、参列したくても参列できない」「参列者に負担をかけたくない」といったものだが、少子高齢化の進行がもたらす地域の事情や経済的理由を抜きには語れない。リンクモアのケースでいえば、「仙台や東京などの親戚に対して2日間にわたり、青森にきてもら

うことは心情的にも辛い」といった遺族の意向も、こうした「1日葬」の増加に拍車をかけている。

通夜を省く「1日葬」や小規模化する葬儀の増加について、宮腰氏は「それぞれの事情があるなかで、こうした葬儀を要望されるお客様がふえてくることは止めることはできません。大切なのは、いつの時代でも故人を見送りたいというお気持ちは残っていることです。われわれ葬祭事業者にはできることは、そうしたさまざまなお客様の声にお応えすることにほかありません」と語る。

こうしたなか、同社では、さらなる地域密着に向けた活動に注力する。「青森を元気に」を合い言葉に地域との絆をさらに強固なものにするため、外部講師を招いた研修、県外の先進的な同業者や異業種の施設見学会などを実施し、サービスレベルの向上に努めるほか、友引の日に開催する事前相談会や葬儀勉強会「ほっとちゃん塾」を定期的に開催することで、顧客満足度の高いサービス提供を目指していく。

また、リンクモアメンバーズ向けのイベント開催や、クチコミをさらに進化させたインフルエンサー・マーケティングで「平安閣認定葬祭アドバイザー」を育成し、葬儀知識を持ち合わせた影響力の強い個人を通じて同社の商品やサービス情報を発信し、一般消費者への認知度を高めていく構えだ。

このように、同社では自社スタッフのスキルアップはもちろん、地域住民との交流機会をふやすことで、現代の消費者ニーズに寄り添ったサービス提供に邁進するとともに、今後は「未来・変化・挑戦」をスローガンに、より一層終活ビジネス全般に注力し、地元青森を元気にする人間集団としての成長を目指すとしている。